

科 目		必・選	担 当 教 員	学年・学科				単位数	授 業 形 態				
環境と社会 Environmentand Society		必	小田 憲	1 年生 物質工学科				1	半期 週 1 時間				
授業概要		環境破壊は地球的規模で発生し、人類の生存に関わる深刻な問題になっている。この事態についての基本的知識を確認するとともに国内の身近な様々な環境問題についてその現状・課題そして解決策について考察する。											
到達目標		1. 「環境」が現代社会の基本問題のひとつであることを認識できる。 2. 経済と科学技術の発展と環境問題の関連について認識できる。 3. 環境問題と地域の関連を認識できる。											
評価方法		定期試験（70%）、発表・課題・提出物（30%）											
教科書等		教材化したプリント、地図帳											
内 容												学習・教育目標	
第 1 週		人類と文明の歴史と環境問題										A	
第 2 週		近代市民社会の成立と環境問題										A	
第 3 週		大量生産・大量消費社会の成立と環境問題										A	
第 4 週		地球環境問題－オゾン層の破壊、酸性雨、森林破壊、砂漠化、海洋汚染－										A	
第 5 週		地球温暖化の要因と現状										A	
第 6 週		地球温暖化と異常気象										A	
第 7 週		環境保全の国際的な取り組み										A	
第 8 週		温暖化防止対策と京都議定書										A	
第 9 週		日本の経済発展と公害問題										A	
第10週		日本の環境保全と公害対策										A	
第11週		資源エネルギー問題と環境問題－世界の動き－										A	
第12週		資源エネルギー問題と環境問題－日本の動き－										A	
第13週		原子力エネルギーと環境問題										A	
第14週		自然エネルギーと環境問題										A	
第15週		循環型社会を目指して－豊かさとは何か－										A	
第16週												A	
第17週												A	
第18週												A	
第19週												A	
第20週												A	
第21週												A	
第22週												A	
第23週												A	
第24週												A	
第25週												A	
第26週												A	
第27週												A	
第28週												A	
第29週												A	
第30週												A	
(特記事項) 大きな政治・経済事件があった場合 など、予定を変更することがある。			JABEEとの関連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習 ・教育目標	A	A	C	C	C	B	B	D	C	B
				○									

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。）

ガイダンス

- 第 1 週 人類の歴史400万年、文明の歴史1万年を自然環境への働きかけと技術進歩との関係で学習する。
- 第 2 週 近代市民革命という人間社会の変化によって成立した近代社会成立の意味・意義を学習する。
- 第 3 週 産業革命という人間社会の変化によって成立した大量生産・大量社会成立の意味・意義を学習する。
- 第 4 週 大量生産・大量消費社会の進展によって起こってきた地球規模での環境破壊の現状を学習する。
- 第 5 週 地球規模での環境破壊の中で特に地球温暖化の要因や現状を学習する。
- 第 6 週 地球温暖化の結果としての異常気象の世界各地の状況を学習する。
- 第 7 週 地球規模での環境破壊から環境を守る国際的な取り組みを学習する。
- 第 8 週 地球温暖化対策の国際的取り組みを京都議定書の意義を含めて学習する。
- 第 9 週 日本における明治以来の資本主義の発展と公害問題を田中正造にも焦点をあてて学習する。
- 第10週 戦後日本の高度経済成長と公害問題をその対策も含めて学習する。
- 第11週 環境問題のひとつとして先進国と発展途上国のエネルギー問題を学習する。
- 第12週 環境問題のひとつとして日本のエネルギー問題を学習する。
- 第13週 環境問題のひとつとして原子力エネルギーと原発事故の問題を学習する。
- 第14週 環境問題のひとつとして自然エネルギー問題を学習する。
- 第15週 循環型社会・エネルギー自給型社会について「豊かさ」の真の意味を考え直しながら学習する。
※「環境と社会」と関わる世界や日本におけるニュースを適宜教材化して授業で扱う。